

広総がん情報ニュース

Vol 1

2016年11月発行



はじめに

2016年1月から『全国がん登録』が始まりました。これは日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国が一つにまとめて集計・分析・管理する仕組みです。がんの実態を正確に把握し、国のがん対策や都道府県のがん医療地域計画に活かされることが期待される事業です。

当院では2007年4月から『院内がん登録』（当院でがんの診断・治療を受ける人の情報を集積）を導入し、広島県全体の地域がん登録にデータを提供すると同時に、当院でのがん診療対策に役立てよう努力してきました。インターネットのwebページを通じて当院のデータは既に公開しておりますが、データを開くボタンを押さないと、見る・知ることが出来ません。そこで、この度の全国がん登録事業が始まったことを契機に、地域の皆様に当院でのがん診療情報を直接、提供するために『広総がん情報ニュース』を発行することに致しました。これからのがん予防・がん検診を地域の皆様と共に考え、またがん治療を受けることになった方々に最新のがん医療に関する情報提供ができますことを祈念しています。

2016年10月吉日

広島総合病院・地域がん診療連携拠点病院運営委員会

委員長 今村祐司

がん登録とは？

Q. がん登録ってなにが登録されているの？

1. がんと診断された人の氏名・性別・生年月日・住所
2. がんの診断をした医療機関名
3. がんと診断を受けた日
4. がんの発見経緯
5. がんの種類
6. がんの進行度
7. 治療内容
8. 生存確認情報

個人情報が多く含まれるため、法律において個人情報の保護や管理、罰則に対する規定が厳しく定められています。

当院ではデータは専門的な研修を受けた『がん登録実務者』が扱い、厳重に管理をしています。



Q. なぜがん登録をするの？



A. 現在、日本の死亡原因第一位は“がん”です。がんの予防・治療の対策をたてるには、がんの実態を把握することが必要です。「どのくらいの人のがんと診断されているのか」、また「どういったがんになり、治療が完治しているのか、いないのか」など、がんにまつわるさまざまな統計情報を正確に集計するのが、がん登録事業です。

Q. がん登録って日本だけの制度？



A. いいえ、他の国でも日本より早い時期に開始されています。

アメリカ:

1942年から「がん登録」が一部でスタート、
1971年 アメリカ・がん基本法(National Cancer Act)制定、
1992年 全州での取り組み(国家的プロジェクト)が開始。

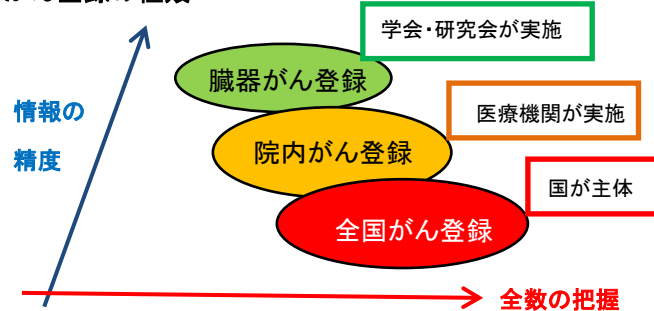
アメリカ以外:

1929年西ドイツ・ハンブルク、
1940年代 デンマーク、カナダ、英国、ニュージーランド、
1950年代 スロベニア、ハンガリー、ノルウェー、ソ連、
東ドイツ、フィンランド、アイスランドで、相次いで開始。

日本:

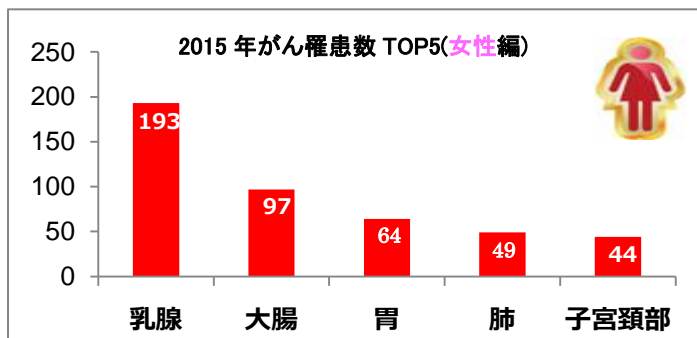
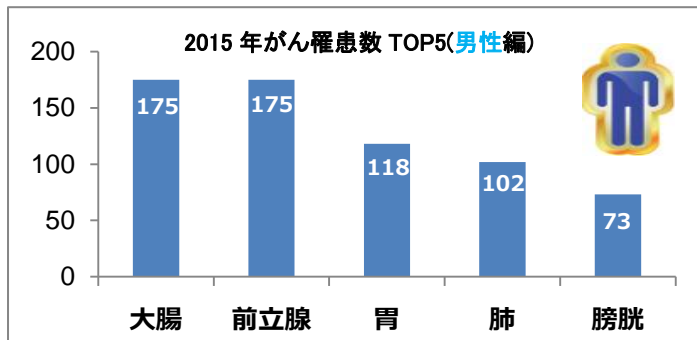
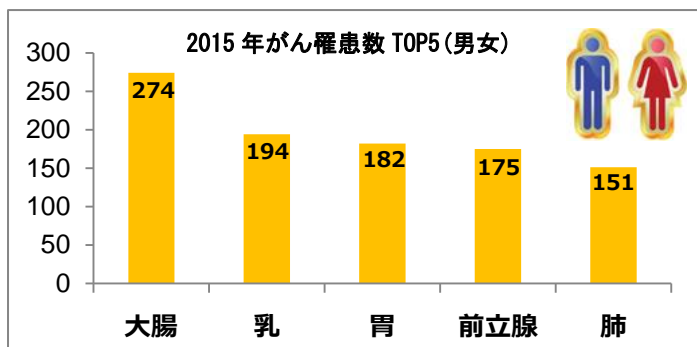
1951年に東北大学で宮城県を対象にスタート、
2007年にがん対策基本法が施行され、がん診療連携拠点病院で『院内がん登録』が始まる。
2016年1月から全国がん登録が法制化。

がん登録の種類



がんと診断された人のデータは全国の病院等から国のデータベース(国立がん研究センター)へ集められ、一元管理されます。収集したデータは、統計の専門家によって分析が行われ、一般に公開され、同時に国のがん対策をはじめ、がん検診や治療の体制づくり、がん研究などに役立てられます。





がん相談支援センター

専門の相談員が「がん患者さんやそのご家族、地域住民」の方からがんに関する相談(がんの治療や療養生活、就業や医療費、不安や疑問に思われている事など)に対して、ゆっくりとお話しを伺い、患者さんが納得して選択できる方法と一緒に考えます。

また、がん患者さんやそのご家族同士が悩みや不安、生活上の工夫などを安心してお話をいただける「おしゃべりサロン」を定期的に開催しています。

地域医療連携室

地域の医療機関や保健・福祉サービス機関と当院を繋ぐ「連携窓口」です。紹介患者さんがスムーズに受診ができるための紹介カウンターや、地域医療機関からの患者さんに関する問い合わせの対応、地域で情報を共有できる場を作るための研修会や懇親会などを開催しています。



健康管理センター

がんを早期に発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることができます。そのためにも「無症状」でもがん検診を受けることをおすすめします。

当院は、「人間ドック」「施設健診」「巡回検診」「がん検診後のフォロー」を行っています。オプション検査となりますが、すい臓がん検診(MRCP)、胸部 CT 検査等も受けることができます。

また平成29年度から本格的に、アミノインデックスという「肺癌、胃癌、子宮癌、乳癌、前立腺癌、膵癌」のがんリスクを測定する検査も行う予定です。

詳しくお聞きになりたい方、興味をもたれた方は、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先: 健康管理センター

☎ 0829-36-3111(代)

電話受付時間: 13:00~16:00(土・日・祝祭日を除く)

当院が提供しているがん診療 (2015年1-12月データ)

- ★がん患者数: 1542 件
- ★悪性腫瘍手術件数: 958 件
- ★化学療法件数(入外・延べ): 5601 件
【入院: 1708 件、外来: 3893 件】
- ★放射線治療件数: 257 件

緩和ケア科の取り組み

がんと診断された時から、治療と並行して患者さんの様々な症状に対して専門的に緩和治療を提供します

具体的には

- 1) がん治療支援
- 2) 本人の意思決定を支援
- 3) 今後の心づもり(アドバンスプランニング)の支援

外来では医療スタッフが、入院中の患者さまでは、緩和ケア・チームがベッドサイドでお手伝いします。

緩和ケア外来は毎週 水・木

